



2012年度 第3四半期決算

カンファレンスコール用資料

2013年2月5日

参天製薬株式会社



2012年度 第3四半期

連結業績概要

**財務・管理本部長
越路 和朗**

2011-2013年度中期経営計画：基本方針

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現に向けて

1. グローバル視点での研究・開発へ転換
2. 新製品と営業戦略による国内でのシェア獲得と事業成長
3. 積極的な営業体制強化によるアジア事業、欧州事業の高成長
4. 世界4工場*体制への円滑な移行と新興市場に対応した体制の構築
5. グローバルに創造と革新を担う組織強化・人材開発

2012年度 第3四半期 決算概況

(単位:億円)	2011年度 第3四半期 累計実績	2012年度 第3四半期 累計実績	対前年 同期 増減率
売上高	864.3	884.2	+ 2.3%
営業利益	222.2	205.7	▲ 7.4%
経常利益	230.3	212.6	▲ 7.7%
四半期 純利益	147.6	141.3	▲ 4.3%

2012年度 第3四半期実績ハイライト(1)

国内事業:

- 医療用医薬品事業において、新製品を中心に売上が伸長し、薬価改定による影響を吸収
 - コソプト、ジクアスは前年同期比2ケタ増
 - タプロス、コソプトの伸長により、緑内障シェア向上
 - 滲出型加齢黄斑変性治療剤「アイリーア」発売
 - 一般用医薬品は、キャンペーン効果により2ケタ増収

海外事業:

- 欧州: 為替変動の影響で微減収、現地通貨建てでは増収基調維持
- アジア: 順調な中国事業がアジア事業の成長を牽引

2012年度 第3四半期実績ハイライト(2)

売上原価:

- 主に薬価改定および販売品目構成の変化に伴い原価上昇

一般販売管理費・研究開発費:

- 費用管理に注力
- 研究開発パイプライン強化に向けた投資を継続

2012年度 第3四半期

売上高の増減要因(対前年同期比較)

2011年度
第3四半期
実績売上高
864.3億円

+19.8億円

2012年度
第3四半期
実績売上高
884.2億円

国内: 747.4億円 (+15.9億円)

- # 医療用眼科薬 +0.4億円
- # 抗リウマチ薬 ▲1.2億円
- # 一般用医薬 +16.0億円
- # 医療機器 +1.6億円
- # その他 ▲0.9億円

海外: 136.8億円 (+3.9億円)

- # 北米 ▲6.5億円
(うち為替 ▲0.0億円)
- # 欧州 ▲2.8億円
(うち為替 ▲6.7億円)
- # アジア +13.2億円
うち中国 +13.9億円
(うち為替 +0.5億円)
うち韓国 ▲2.9億円
(うち為替 ▲0.1億円)

国内医療用眼科薬

+ 抗菌	▲22.1億円	▲20.7%
+ 角膜	+5.5億円	+3.1%
うちジクアス	+21.0億円	+109.2%
+ 緑内障	+16.8億円	+9.8%
うちタプロス	+4.3億円	+7.9%
うちコンプト	+21.6億円	+46.8%
+ アレルギー	▲0.3億円	▲1.6%
+ その他	▲6.1億円	▲5.3%

欧州

+ 医療用眼科薬	▲2.8億円	▲4.2%
うち西欧	+0.1億円	+0.9%
うち東欧	+0.3億円	+2.9%
うち北欧	▲0.5億円	▲2.1%
うちロシア	▲2.8億円	▲22.3%

<為替レート>	11FY3Q累計実績	12FY3Q累計実績
US \$	JPY 79.09	JPY 80.01
Euro	JPY 112.94	JPY 102.12
中国元	JPY 12.38	JPY 12.53

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2011年度 第3四半期 実績	2012年度 第3四半期		主な差異要因
		実績	差異	
売上高	864.3	884.2	+ 19.8	
売上原価 (対売上高比率)	269.5 31.2%	297.5 33.7%	+ 28.0 + 2.5pt	・薬価改定の影響 +1.5pt ・品目構成の変化の影響 +0.6pt ・技術導出契約に伴う収入減の影響 +0.2pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	250.2 28.9%	259.9 29.4%	+ 9.7 + 0.5pt	・国内事業 ▲1.8億円 ・欧米 +2.8億円 (除くノバガリ) ・ノバガリ +7.3億円 ・アジア事業 +4.5億円 ・本社間接費他 ▲2.9億円
研究開発費 (対売上高比率)	122.4 14.2%	120.9 13.7%	▲ 1.4 ▲ 0.5pt	・国内 ▲9.6億円 ・欧米 +1.9億円 (除くノバガリ) ・ノバガリ +6.1億円
営業利益 (対売上高比率)	222.2 25.7%	205.7 23.3%	▲ 16.4 ▲ 2.4pt	
営業外収益	8.6	8.5	▲ 0.1	
営業外費用	0.5	1.5	+ 0.9	
経常利益	230.3	212.6	▲ 17.6	
特別利益	0.6	0.1	▲ 0.4	
特別損失	0.2	0.0	▲ 0.1	
税金等調整前当期純利益	230.6	212.7	▲ 17.8	
法人税等	82.9	71.4	▲ 11.5	
四半期純利益	147.6	141.3	▲ 6.3	

<為替レート>	11FY3Q累計 実績	12FY3Q累計 実績
US \$	JPY 79.09	JPY 80.01
Euro	JPY 112.94	JPY 102.12
中国元	JPY 12.38	JPY 12.53



参考資料
2012年度第3四半期
連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2012年度第3四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前期増減率	売上高	対前期増減率	売上高	対前期増減率
医薬品事業	731.8	+ 2.0 %	136.2	+ 7.7 %	868.1	+ 2.9 %
医療用医薬品	679.9	▲ 0.3 %	136.1	+ 7.7 %	816.1	+ 1.0 %
眼科薬	595.3	+ 0.1 %	133.1	+ 7.4 %	728.5	+ 1.3 %
抗リウマチ薬	76.6	▲ 1.6 %	0.6	▲ 24.6 %	77.2	▲ 1.9 %
その他医薬品	8.0	▲ 10.4 %	2.3	+ 47.9 %	10.3	▲ 1.7 %
一般用医薬品	51.8	+ 44.6 %	0.0	▲ 4.3 %	51.9	+ 44.5 %
その他	15.5	+ 11.6 %	0.5	▲ 91.4 %	16.1	▲ 20.7 %
医療機器	15.5	+ 11.7 %	0.5	▲ 91.4 %	16.0	▲ 20.7 %
その他	0.0	▲ 9.2 %	—	—	0.0	▲ 9.2 %
合計	747.4	+ 2.2 %	136.8	+ 3.0 %	884.2	+ 2.3 %

海外売上高(仕向地別)

(単位:億円)	2011年度 第3四半期 実績	2012年度 第3四半期		
		実績	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	10.1	3.6	▲ 6.5	▲ 64.1 %
欧州	67.5	64.6	▲ 2.8	▲ 4.3 %
アジア	55.1	68.4	+ 13.2	+ 24.1 %
その他	0.0	0.0	+ 0.0	+ 130.7 %
合計	132.8	136.8	+ 3.9	+ 3.0 %

貸借対照表

(単位:億円)	2012年3月末		2012年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,402.8	70.6%	1,242.2	67.3%	▲160.6
固定資産	585.1	29.4%	603.9	32.7%	+ 18.7
資産合計	1,988.0	100.0%	1,846.1	100.0%	▲141.9
流動負債	274.2	13.8%	211.4	11.5%	▲62.7
固定負債	65.1	3.3%	65.5	3.6%	+ 0.4
負債合計	339.4	17.1%	277.0	15.0%	▲62.3
純資産合計	1,648.6	82.9%	1,569.0	85.0%	▲79.5
負債純資産合計	1,988.0	100.0%	1,846.1	100.0%	▲141.9

【主要変動科目】

流動資産: 現金及び預金▲189.2億円、受取手形及び売掛金+41.8億円、商品及び製品▲9.0億円、
原材料及び貯蔵品+8.4億円、短期繰延税金資産▲8.0億円

固定資産: 建物及び構築物▲6.0億円、建設仮勘定+11.7億円、のれん▲4.9億円、
投資有価証券+8.6億円、長期繰延税金資産▲4.0億円、その他の投資+12.0億円

流動負債: 支払手形及び買掛金▲5.4億円、未払法人税等▲43.5億円、賞与引当金▲12.7億円

固定負債: 退職給付引当金+1.1億円

純資産 : 資本剰余金▲5.0億円、利益剰余金▲74.1億円

発行済株式数: 9月末 87,168,000株 → 12月末 82,322,000株、11月16日付 自己株式消却による

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2012年度 第3四半期 実績
現金等期首残高	750.3
現金等 増減額	▲ 188.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	62.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 33.2
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 218.6
現金等に係る換算差額	1.7
現金等期末残高	562.3

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2011年度 第3四半期 実績	2012年度		
		第3四半期 実績	増減額	通期予想*
設備投資額	27.0	25.9	▲ 1.0	50.0
減価償却費	20.2	18.3	▲ 1.8	28.4
リース料	0.2	0.0	▲ 0.1	0.1

ノバガリ連結対象損益概要

(単位: EUR' mil)	2012年度 第3四半期
	実績(累計)
売上高	0.4
売上原価	0.3
研究開発費を除く 販売管理費	7.1
うちのれん償却費	4.6
研究開発費	6.0
営業利益	▲ 13.1



参考資料
2012年度通期連結業績予想

2012年度 連結業績予想概況

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度 業績予想	対前期 増減率
売上高	1,144.1	1,145.0	+0.1%
営業利益	267.3	235.0	▲12.1%
経常利益	277.8	240.0	▲13.6%
当期純利益	171.6	160.0	▲6.8%
ROE	10.7%	10.0%	▲0.7pt

2012年度 連結業績予想

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度	
		予想	増減
売上高	1,144.1	1,145.0	+0.8
売上原価 (対売上高比率)	353.8 30.9%	380.0 33.2%	+26.1 +2.3pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	350.7 30.7%	355.0 31.0%	+4.2 +0.4pt
研究開発費 (対売上高比率)	172.2 15.1%	175.0 15.3%	+2.7 +0.2pt
営業利益 (対売上高比率)	267.3 23.4%	235.0 20.5%	▲32.3 ▲2.8pt
営業外損益	10.4	5.0	▲5.4
経常利益	277.8	240.0	▲37.8
特別損益	0.1	0.0	▲0.1
税金等調整前当期純利益	277.9	240.0	▲37.9
法人税等	106.3	80.0	▲26.3
当期純利益	171.6	160.0	▲11.6

<為替レート>	
<u>2011年度実績</u>	
US\$	79.03円
Euro	110.27円
中国元	12.34円
<u>2012年度予想</u>	
US\$	79.00円
Euro	104.00円
中国元	12.50円

セグメント別売上高予想

(単位:億円)	2012年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	932.8	▲0.2%	183.1	▲0.5%	1,115.9	▲0.2%
医療用医薬品	871.7	▲1.9%	182.6	▲0.7%	1,054.3	▲1.7%
眼科薬	767.1	▲1.3%	175.7	+10.8%	942.8	+0.7%
抗リウマチ薬	94.5	▲4.3%	0.9	▲13.1%	95.4	▲4.4%
その他医薬品	10.0	▲17.8%	5.9	▲75.2%	16.0	▲55.9%
一般用医薬品	61.1	+33.3%	0.4	+377%	61.6	+34.1%
その他	28.9	+50.2%	0.1	▲98.4%	29.0	+12.9%
医療機器	28.8	+50.6%	0.1	▲98.4%	28.9	+13.0%
その他	0.1	▲11.9%	—	—	0.1	▲11.9%
合計	961.7	+0.8%	183.2	▲3.8%	1,145.0	+0.1%



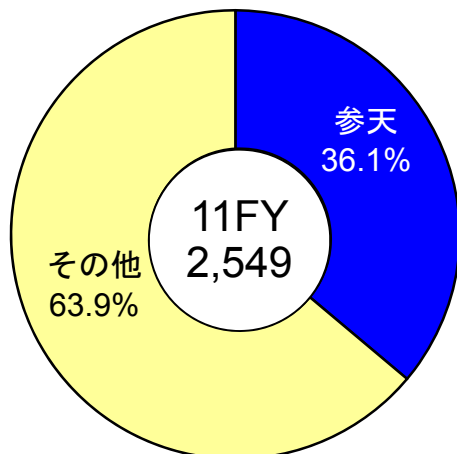
参考資料
国内医療用眼科薬市場概況

国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科薬計：12FY3Q累計市場規模は対前年+4.9%。網膜領域、角膜領域の市場拡大傾向続く。参天シェア35.6%
- ・緑内障：市場は対前年+2.4%の拡大。参天はタプロス、コソプトの寄与により対前年+10.6%、シェア30.4%
- ・角膜：市場は対前年+11.6%の拡大。参天はジクアス、ヒアレインが牽引し、対前年+8.0%、シェア75.2%

市場規模:億円
%:金額ベース

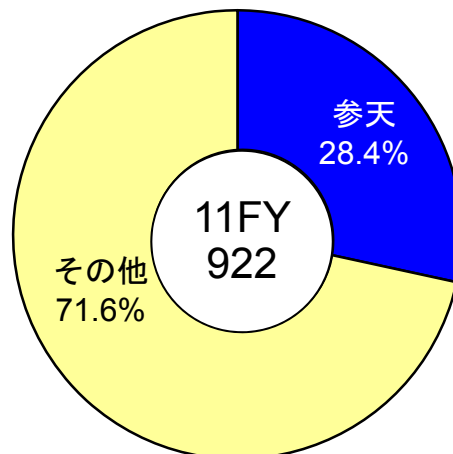
眼科薬計



11FY 12FY 3Q累計

(金額) 前年比	市場	+3.1%	+4.9%
	参天	+4.1%	+1.5%
参天シェア		36.1%	35.6%

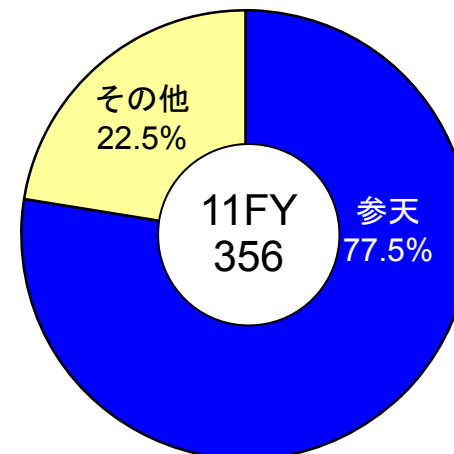
抗緑内障剤



11FY 12FY 3Q累計

市場	+2.3%	+2.4%
参天	+13.1%	+10.6%
参天シェア		28.4%
		30.4%

角膜疾患治療剤



11FY 12FY 3Q累計

市場	+11.3%	+11.6%
参天	+13.7%	+8.0%
参天シェア		77.5%
		75.2%

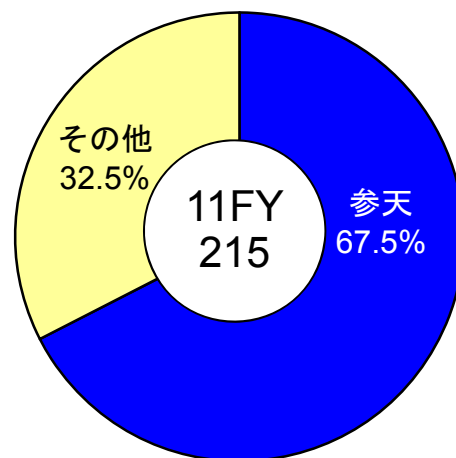
- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤：タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
 - ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

国内医療用眼科薬：市場概況（抗菌・抗アレルギー）

- ・抗菌：12FY3Q累計市場規模は対前年-12.2%の縮小。参天はクラビットを中心にシェア61.7%を確保
- ・抗アレルギー：12FY3Q累計市場は対前年-3.5%の縮小。参天シェアは18.8%

市場規模: 億円
%: 金額ベース

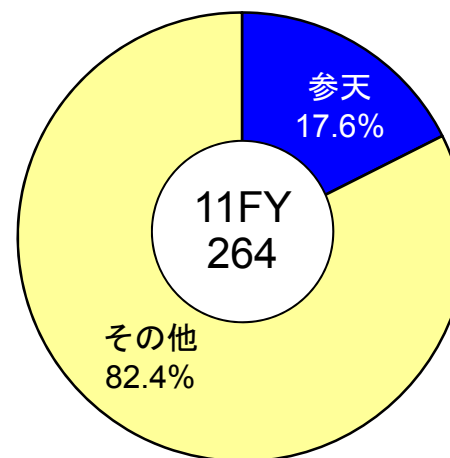
抗菌点眼剤



11FY 12FY 3Q累計

(金額) 前年比	市場	-4.2%	-12.2%
	参天	-5.5%	-20.2%
参天シェア		67.5%	61.7%

抗アレルギー剤



11FY 12FY 3Q累計

市場	-9.9%	-3.5%
参天	-4.9%	-6.0%
参天シェア		17.6%
		18.8%

-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール



出典: ©2013 IMS Japan
IMS-JPM 2010-12を基に参天分析
無断転載禁止



2012年度 第3四半期

新製品開発の現状

取締役 専務執行役員

米国・欧州事業管掌 兼 研究開発本部長

西畑 利明

主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線:12FY2Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障	DE-117 EP2作動薬			中国 DE-085 タフルプロスト	日本・アジア 欧州・ラテンアメリカ オーストラリア・米国
		DE-090 ロメリジン塩酸塩	欧州 DE-111 タフルプロスト/チモロール	日本	DE-118 タフルプロスト
角結膜疾患		DE-101 リボグリタゾン		中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム	韓国 日本
	米国 DE-105 ペプチド組合せ剤	日本			
		米国 Cyclokat シクロスポリン	欧州		
網膜 ぶどう膜 疾患			DE-109 シロリムス		
			DE-102 ベタメタゾン		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体		DE-114 エピナスチン塩酸塩	
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 12FY2Q発表時からの変更点)

グローバル品 日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾン		DE-085 タフルプロスト
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		DE-111 タフルプロスト/チモロール	DE-089 ジクアホソルナトリウム
		DE-105 ペプチド組合せ剤		DE-114 エピナスチン塩酸塩	DE-118 タフルプロスト
		DE-098 抗APO-1抗体	DE-109 シロリムス		
北米 (ラテンアメリカ含む)	DE-117 EP2作動薬		DE-109 シロリムス		DE-085 タフルプロスト
	DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-101 リボグリタゾン			
		Cyclokat シクロスポリン			
アジア (オセアニア含む)				中国 DE-085 タフルプロスト 韓国、オーストラリア	
				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム 韓国	
欧州			DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-085 タフルプロスト
			DE-109 シロリムス		
			Cyclokat シクロスポリン		
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：「タプロス」「TAFLOTAN」「SAFLUTAN」「ZIOPTAN」

地域	承認・販売状況	備考
日本	発売	一般名： タフルプロスト 【発売開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 米国：2012年3月 ラテンアメリカ：2010年8月 【導出】 米メルク社： 2009年4月
欧州**	発売38カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア**	発売5カ国 中国：承認申請中 米メルク社*に一部導出	
米州**	米メルク社*に導出 発売17カ国（米国含む）	

【発売国】世界合計：60カ国以上

- ・参天：日本、アジア4カ国、欧州20カ国以上
- ・米メルク社*：欧州15カ国、米国、ラテンアメリカ16カ国、オーストラリア

【承認国】世界合計：60カ国以上

*米メルク社への販売権導出（2009年4月）：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ、オセアニア

**欧州：CIS諸国、アジア：オセアニア、米州：米国・ラテンアメリカを含む

【訂正】 前回発表時の欧州における発売国数に誤りがありましたので今回訂正をしております

【誤】発売50カ国 → 【正】発売38カ国

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-118 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	承認	承認申請中	一般名：タフルプロスト (防腐剤無添加・1回使い切りタイプ)

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	発売	発売	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国：承認申請中 韓国：承認取得	中国：承認申請中 韓国：承認取得	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	承認申請中	承認申請中	一般名： タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3	

■DE-117

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	プロスタグランジン EP2作動薬

主要臨床プロジェクトの現状 —角結膜疾患—

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
米国	P2	P2	一般名:リボグリタゾン

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	P2	P2	ペプチド組み合せ剤
米国	P2準備中	P2準備中	

主要臨床プロジェクトの現状 —網膜/ぶどう膜疾患—

■DE-102 糖尿病および網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	P2/3	P2/3	一般名:ベタメタゾン

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
米国	P3	P3	一般名:シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	P3	P3	

主要臨床プロジェクトの現状 ー感染症・アレルギー・リウマチー

■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	承認申請中	承認申請準備中	一般名： エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
日本	P2終了	P2終了	抗APO-1抗体

主要臨床プロジェクトの現状 –ノバガリー–

■Cyclokate(シクロカット) 重症ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
欧州	P3	P3	一般名: シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia(ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/1発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名: ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名: デキサメタゾン パルミチン酸エステル

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。